

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP4001	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
英文オープンアクセスジャーナル発刊 による大腸肛門病域における国際情報 発信強化の取り組み		一般社団法人 日本大腸肛門病学会	理事長・宮島 伸宜
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of the Anus, Rectum and Colon			J A R C

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>オープンアクセスジャーナル Journal of the Anus, Rectum and Colon 誌を発刊し、日本からの論文の掲載の場を創出したことは評価できる。ただし、インパクトファクターが付与されれば、投稿料、掲載料を課しても論文が集まるとの見通しは楽観的で、補助期間終了後の継続性に不安がある。今後は、支出経費を精査するとともに、海外からの投稿の増加、論文のダウンロード数の増加を促す施策を講じて Journal of the Anus, Rectum and Colon 誌のステイタスを高め、将来の財政基盤の確立につなげることが望まれる。</p>	